

# スキルス胃癌の病態解明と間質相互作用の探索的研究

## 1. 研究の対象

2008年4月以降に千葉大学医学部附属病院にて胃癌に対する治療を受けられた患者様。

## 2. 研究目的・方法

スキルス胃癌は消化器癌の中でも極めて予後不良として知られ、病態解明と治療開発が急務です。再発リスクや生存期間の予測因子も一定の見解を得ない状況です。候補となるマーカーを挙げて、関連のある分子標的に対し臨床予後予測・治療感受性予測としての有用性探索を行います。続いて橋渡し研究として3次元培養技術を用いて間質と腫瘍との相互作用がもたらす影響を調べることで、最終的には臨床応用を目標とする研究を行います。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、進行度、薬剤治療の副作用等の発生状況、家族歴、遺伝情報等

試料：血液（検査結果）、摘出あるいは生検によって得られた組織

## 4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関や研究の一部を委託する機関への試料・情報の提供は、当該試料・情報を匿名化した上でを行います。対応表は、当施設において個人情報管理者として指名された者が責任をもって保管・管理します。

## 5. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学

龍崎貴寛（診療情報管理、統計解析）村上健太郎（生体試料管理）松原久裕（研究統括）

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究実施担当者： 千葉大学医学部附属病院 食道胃腸外科 医員 龍崎貴寛

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話：043-222-7171（代表）内線 5294 /5295

研究責任者：千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学 教授 松原久裕